Rotary Club of YOKOHAMA MIDORI

横浜緑ロータリークラブ

2001-02 年度国際ロータリー会長
リチャード・D・キング
Mankind is our business
人類が私達の仕事

第 2590 地区ガバナー
上　野　孝
会　長 / 加藤喜夫
幹　事 / 森　一誠
会報委員長 / 河渕　雄

WEEKLY REPORT

第 1542 回例会 No5

例　会　記　録

平成 13 年 8 月 1 日(AUG.1.2001)

● 例会日 毎週水曜日
PM0：30～PM1：30
● 例会場 横浜市青葉区青葉台 1-5-8
青葉台フオーラム
● 事務所 横浜市緑区中山町２３０
(横浜銀行中山支店)
TEL (045)933-1651
FAX (045)933-2027

✧ 司会　斉藤清紀 ＳＡＡ
✧ 点鍾　加藤喜夫 会長
✧ 合唱　君が代　奉仕の理想
✧ ゲスト　上野ガバナー　森分区代理　金　君
✧ 会長報告

１，あざみの R.C より１０周年の記念品を頂きました。

２．５回目の会長報告です。

5 に関わるゴルフに関する話、記録を探すのがだんだん難しくなってきました。ホールインワンを達成した最年少の少年の年齢が 5 歳という記録が残っております。当時 5 歳だったコビー・オール少年が、サンアントニオのリバーサイドＧＣの 5 番ショートホール 103 ヤードで記録しました。また、1774 年エジンバラのゴルファー達が定めた世界最古のゴルフルールの第 5 条

「あなたのボールが水あるいは液体状の汚物の中に入ったときは、そのボールを拾い上げ、その障害物の後方からプレーする。使用クラブは自由。ボールを拾い上げた行為に対して、相手の一打数えないこと。(ストロークプレーではなかったので、ペナルティを自分に課すかわりに、カウントをしない一打を相手に許した)」

この世界最古のルールは 13 条あります。13 回目の報告でまた紹介しましょう。

✧ 幹事報告

幹事報告は本日はございませんが、定例会の後クラブアッセンブリを行いますので各委員長さんよろしくお願いします。

委員会報告

4ッ のテスト斉唱

職業奉仕委員長　藤田 孝次

親睦委員会よりお知らせ,

親睦委員長　北原　弘文

1　今月,8 月 29 日に夜間移動例会を実施致します,
　場所 ; ﾊﾟｽﾄﾗｰﾙﾎﾃﾙ　時間 6:30 より

2　生命保険東京ボランティアー協会による
明日(8/2) NHK 総合 TV 9:15 分より,
“ 難病の夢が叶える “　放映予定

バザーのお知らせ

社会奉仕委員長　武藤　泰典

バザーを 8 月 29 日 緑区役所にて行います。　8／8
8／22 献品を集めます,

連絡頂ければ取りに伺います。

香港南Ｒ．Ｃ訪問の件

国際奉仕委員長 若松 守正

香港南 RC への訪問旅行の件,最終人数確認致したく,参加申し込み名簿回覧致します。

会員増強に関する件

会員増強委員長　鶴岡　　武

現在の会員増強活動報告します。

・Ａ氏　　会員 6 人で話し合い実施

・Ｂ氏　　話し合い中

又、税理士会緑支部長に入会候補者の紹介依頼をした。皆様からの紹介もお願いします。尚、推薦されますと次の 13 段階で検討されます。

✧　1.（会員増強委員長）2.（幹事受付）3.(理事会、会長印)4.(職業分類委員会付)5.(職業分類委員会より報告届く)6.（会員選考委員会付記）7.（会員選考委員会より報告届く）8.（理事会）9.（会員に異議申し立て通知書発送）10.（異議申し立ての有無）11.（推薦者（本人）に通知）12.(情報委員と勉強会)13.（入会）

✧ 出席報告

出席委員長　大地　哲郎

会員数	本日の出席	本日の出席率	前々回の補正後出席率
36	22	81	78

✧

✧ 欠席届

◆　下中　英輝　君

急な仕事の為申し訳ございません。欠席させていただきます

◆　藤津　　均　君

8 月 1 日ガバナー公式訪問ですが、九州へ西医体に救護班として参加してきます。申し訳ありませんが欠席いたします。

◆　土志田　猛　君

急な社用の為。

◆　矢嶋　誠治　君

社用のため欠席させて頂きます。

✧ ニコニコＢＯＸ

◆　上野　　孝　ガバナー

公式訪問に伺わせて頂きました。何卒よろしくお願いいたします。

◆　森　　節子　分区代理

ガバナー公式訪問にお供致しました。本日の訪問が皆様にとって実り多いものになりますよう祈念致します。

◆　加藤　喜夫　君

ガバナー、分区代理ようこそおいでくださいました。今日はよろしく御教示お願い致します。勉強させて頂きます。

◆　森　　一誠　君

上野ガバナー、森分区代理、緑ロータリーへようこそ。

◆　岡本　　健　君

上野ガバナー、森分区代理をお迎えして。

◆　長根　信康　君

ガバナー、分区代理ようこそいらっしゃいました。

◆　藤田　孝次　君

上野ガバナーようこそおいで下さいました。

◆　内野　　晃　君

ガバナーよくいらっしゃいました。

◆　鶴岡　　武　君

上野ガバナー、森分区代理ようこそ、今期よろしくお願いします。

◆　須藤　保夫　君

上野ガバナー本日はよろしくお願いいたします。

◆　北原　弘文　君

上野ガバナー、森分区代理、暑い中ようこそお越しくださいました。

◆　村松　勇治　君

ガバナー、本日よろしくお願いします。

◆　市瀬　栄一　君

上野ガバナーようこそいらっしゃいませ。

◆　大地　哲郎　君

上野ガバナー、森分区代理、お暑い中ご苦労様です。本日は、よろしくお願いいたします。

◆　脇田　幸一　君

上野孝ガバナーようこそ。

◆　代々木和男　君

ガバナー公式訪問。

◆　若松　守正　君

上野ガバナーようこそいらっしゃいました。

◆　村松　勇治　君

ガバナー、本日よろしくお願いします。

◆　武藤　泰典　君

上野ガバナー、森分区代理、ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願いいたします。

◆　河渕　　雄　君

上野ガバナー、ようこそいらっしゃいました。

◆　遠藤　一典　君

上野ガバナーご苦労様です。よろしくお願いします。

✧　ニガニガＢＯＸ

◆　石川　輝久　君

7 月例会欠席が多く申し訳ございませんでした。

◆　斉藤　清紀　君

上野ガバナー、森分区代理、ようこそおこしくださいました。法務の為遅刻いたしました、申し訳ございません。

◆　森　　宏　君

先週欠席しました。メークアップは 27 日田園ＲＣで済みました。上野ガバナー、森分区代理ご苦労さんです。

8 月 1 日 23 件	¥　６５，０００
本年度累計	¥１７５，５００

ガバナー公式訪問卓話

国際ロータリー･第 2590 地区ガバナー　上野　孝　様

ガバナー卓話の風景

ガバナー紹介

＊１９４４年（昭和１９年）１２月１０日生

＊神奈川県立湘南高等学校卒

＊慶応義塾大学経済学部卒

＊英国オックスフォード大学大学院終了

＊現在上野トランステック株式会社
代表取締役最高経営責任者

紹介者　　第５分区代理　森　節子様

本日ここに公式訪問をさせて頂きますにあたり一言私といたしまして考えております事をお話させていただきたいと思います。

本年度のテーマ「人類が私たちの仕事」の意味するところを理解するために、ここ数年間の RI テーマを振り返ってみたいと存じます。

ロータリーと夢

今から４年前の１９９８‐９９年度のテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」というものでした。当時のジェームスＬ．レーシー会長は「皆さん一人一人が今年度ロー

タリーの夢を追い続け、ロータリーの可能性を羽ばたかせよう」とロータリーの未来の夢を語られました。

ロータリーと倫理的・道徳的価値

その次の年度のカルロ・ラビッツア会長は「ロータリー２０００：活動は－堅実、信望、持続」をテーマとされました。そして、「ロータリーがこれまでの歴史を通して信奉してきた高度な倫理的・道徳的価値感から生まれる信念や行動こそが、ロータリーと他の組織を区別する特徴であり、世界中の地域社会において私たちの信望を高めてくれるものなのです。」と述べ、言わば、ロータリーの倫理的・道徳的側面について多く語られました。

ロータリーと意識

前年度 RI テーマは我々の記憶に新しいものでありますが、「意識を喚起し、進んで行動を」というものでありました。フランクＪ．デブリン会長は「ロータリアンにとって、意識と行動と言う二つの作業は絶対不可分のものです。意識しても行動しなければ役に立ちませんが、はっきり意識しなければ行動する事も出来ません。」と言われております。これはロータリーにおいて「行動」に先んじての「意識」の大切さを述べられたのではないかと思うのであります。

ロータリーと実践

このように、未来への楽観に溢れる「夢」、抽象度の高いまた内面的なものを強調した「倫理・道徳」、「意識」と言う RI テーマの流れの中で本年度の RI テーマ「人類が私たちの仕事」の意味するところを考えてみますと、リチャードキング会長が示しているところのものは、business=仕事と言う言葉に端的に示されておりますように、「実践」の一点にあるのではないかと思います。

ロータリーの「夢」を語ることも大切である。ロータリアンとしての倫理的・道徳的価値観も必要であろう。ロータリーとしての様々な問題に対する意識を喚起する事も必要である。しかし今は実践、行動のときだ、実際の仕事をする時なのだと言われているのではないかと思います。

またキング会長は、「ロータリーは、奉仕という最終製品によって人助けを
するために存在をする。それに対する需要はかってなく大きいものとなっている。世界の至る所でロータリーの助けを求めている人が存在する。その需要に
応えていくために先ず必要な事は、ロータリーの内部組織の充実と強化である。」と言われております。そして内部充実・強化のための手段として、次の
４つの重点推進項目を掲げておられます。それは、

① 会員増強
② 会員の教育研修
③ 対外的イメージの向上
④ クラブの活性化

の４つであります。

そこで私は少し角度をかえて、４つの重点推進項目を踏まえた次の４つの実践についてお話ししたいと思います。それは、

①いまだかってないほど大きくなっているロータリーの奉仕への需要に応え
うる会員数を確保するための会員増強の実践。

② ロータリーの内部充実と強化のための教育研修の実践。
③ R 財団、米山奨学会がロータリーの目指すところを実践するための力の源泉であることへの認識を深め、寄付の達成を目指す。
④ 奉仕団体として本来の仕事である社会奉仕、世界社会奉仕の新規プロジェ
クトを実践。

の４点であります。

第一の会員増強と言う事に関してでありますが、これはキング RI 会長の最優先の課題であることは間違いのないところであります。世界的な会員の減少が続いている現状において、先ずは初めに会員増強ありきの信念を持って取り組んでいかなければなりません。

会員増強が何故必要なのかは、近年における会員数の減少傾向をみれば明らかな事であります。

この五年間における世界、および日本の会員数の変化は次のようになっております。

全世界のロータリアン数（6 月末）(千人)

年　度	‘９７	‘９８	‘９９
会員数	1,214	1,202	1,193

日本のロータリアン数（6 月末）(千人)

年　度	‘９７	‘９８	‘９９
会員数	130	127	124

第２５９０地区の会員数（7 月初）(人)

年　度	‘９７	‘９８	‘９９
会員数	3,149	3,079	3,013

５年前には世界のロータリアンの数は121万人でありましたが、現在では、１１８万人を切っております。日本におきましては、この５年間に１３万人から１１万９千人と約１万人の会員減がございました。当地区の会員数が約３千名でありますので、第２５９０地区が３つなくなってしまったのと同じインパクトがあったのであります。

当地区はと申しますと、４年前の３１４９人から、今年度７月初の２９０４人、２４５人減となっております。しかしこの間（岡本年度以降）４つの新しいクラブが誕生いたしましたので、既存クラブの会員数だけを比較してみますと、３６５人の会員数減少となっているのであります。

このような傾向に鑑み、キングRI会長は何とか会員の減少傾向に歯止めを掛け更にはロータリー１００周年に向かって１５０万人の会員数達成に向かって行動することを我々に呼びかけておられます。キングRI会長は、「人類が私たちの仕事」というRIテーマと共に、サブテーマとして「Rotary'ｓ Global Quest」「ロータリーの全世界での探求」という言葉を掲げておられます。

「ロータリーの全世界での探求」の意味するところは、先に申し上げました、２００５年のロータリーの百周年までに１５０万の会員数を達成しようという計画であります。そしてその達成のために、各クラブが、「毎月１人の新会員、年間５名の純増」を目指してほしいというものであります。

会員の増強や拡大に関しましては根強い抵抗感が存在する事も確かであります。それは主に次の理由によるものであります。

① 現在の経済環境のもとでの会員増強の困難性
② クラブの現状維持をベストとする考え方
③ 増強･拡大によるクラブの質の低下に対する憂慮

勿論このような考え方もそれぞれに理由のあることではありますが、現実においてはクラブがこのような考え方で運営される限り、衰退の一途をたどる運命にあることは間違いありません。

会員増強に成功したクラブの例を見ますと、会員増強によってクラブ発展の好循環を生むことができるようになると言うことが分かります。それは次のような過程をとるものと思います。

① 会員の増強
② 新会員の加入による会員間の切磋琢磨
③ 例会・奉仕活動の活発化によるクラブの活性化
④ クラブの対外的イメージの向上
⑤ 会員の更なる増強

このようなプロセスを経て会員増強はクラブの発展の源泉となるのであります。
会員増強なしにはクラブの発展は言うに及ばず現状維持も困難になってしまうことは多言を要しないことであります。

実際に会員増強に成功したクラブの方々のお話を伺いますと、「会員増強」については、先ず会長始めクラブのリーダーが会員増強のための高い目標設定を行い、会員獲得のためにはどこへでも出かけていくというコミットメントとリーダーシップが無ければ成功しないということであります。今年度会長始め各クラブのリーダーの方々はその点について私から申し上げるまでもなく、会員増強の必要性についてご理解頂いております。昨年度の５月の時点で本年度会長にお願いいたしましたアンケートを拝見いたしますと、各クラブの入会計画から退会予測を引いた純増目標の総計は２６４人となっており、当地区の会長方が会員増強に強いコミットメントをして頂いており、今年度の増強の達成に明るい希望を抱くことができるのではないかと考えております。

実践ということに関しての第二の点である教育・研修という点でありますが、これは第一点として挙げました「会員増強」の実践にも大いに関連のあることであります。

地区レベルにおきましては、大切な教育研修の機会としてこの「地区協議会」と「地区大会」の二つがあります。特に地区大会は地区の全ての会員を対象といたしました大切なR情報伝達の機会であるのでありますが、近年の経済環境の変化、費用対効果の考慮、クラブ・会員の参加意識を高めるための方策等を種々勘案いたしまして新しいスタイルの地区大会を計画いたしております。そのため、

① 二日目重点のプログラム
② クラブ･会員参加の地区大会－展示ブースの設置
③ 会費の大幅値下げ

を実現すべく準備を進めております。

分区レベルの教育研修の機会といたしましてはIMがあります。これにつきましても、分区単位での唯一と言っても良い集まりでございますので、中身の充実を図り、貴重な教育研修の機会として、更なる改善と活性化を、主催される分区代理の方々に要請をいたしております。

クラブレベルでの教育改善については、それぞれのクラブにおいて、新会員、既存会員に対する教育プログラムが

数多く存在すると思いますが、新会員の増強、既存会員の退会防止に直接繋がるようなＲ情報に関する教育を本年は強力に推進していただきたいと思うのであります。またそのためには「ロータリーの友」の他、Rotary Japan Web 等の新しいツールの活用が大切になってくるものと思います。RJW は今年２月日本語の Website として RI の公式な承認を得ましたが、その後規定審議会で公式の Website を見ることが義務となる規定が制定されるなどＲ情報伝達の手段として Website の重要性が更に大きなものになってまいりました。

当地区におきましては青山 PG を委員長とする IT 推進委員会がこのようなロータリーの IT 化に対応すべく具体的な検討を進めていただいております。

今年度、次年度に亘っては、当地区ロータリー運営に影響のある大きな改革が二つ行われます。一つは「規定審議会」におきまして９３件の新しい規定制定がなされました。これにつきましては、今後理事会の正式承認を経て、今年末に新しい手続要覧ができてくると伺っております。特に年間４日まで例会を取りやめることができることや、「規定審議会」の費用を賄うために毎年一人あたり１ドルの徴収を行うと言う規定が正式に決定されますとクラブの運営に影響がでてまいります。現在詳細は RJW からダウンロードできますので、そのような資料を手に入れていただき、内容についてクラブの皆さんの理解度を深めていただきたいと思うのであります。もう一つの大きな変化は、昨年度の地区協本会議におきまして会長エレクトの皆さんのご承認を得ることができました、次々年度からの「DLP 導入」とそれに伴う「ガバナー補佐制度の導入」と言う事であります。この目的とするところは、

① ガバナーの負担軽減
② クラブ支援体制の充実
③ 地区指導者の育成
④ 地区・クラブのコミュニケーションの円滑化

と言う事であります。また導入の方法と致しましては、

①分区はグループへ
②グループは８分区がそのまま移行
③初年度は分区代理の選考方法を採用
④その他は「リーダーシップ･プラン」の指針に準拠

といたします。現行の分区代理制度と実施面ではいろいろ変化が出てくると思いますので、その理解推進のための適切なＲ情報教育をお願いいたす次第であります。

実践と言う事に関しての第三点であります「ロータリー財団と米山奨学会」についてでありますが、この問題について、私がいつも引用させていただくのは、今年２月に開催されました国際協議会においてなされたある方のスピーチであります。

それは「ロータリーはいつから寄付集めの団体になったのだろうかと質問する人がいる。それに対する正しい答えはロータリーが始まった時からだと言うものである。シカゴ・ロータリー・クラブが、最初の社会奉仕としてシカゴの町の中に公衆便所を建てたとき、それは募金によって作られたのである。１年後に医師が往診を出来る様にとクラブが馬を購入し寄贈した時も、それは募金によってであった。資金を集める事は、ロータリーがその偉大な責任を果たすため不可欠の活動であり、そしてまた我々のなしうる崇高な行為なのである。」と言う言葉であります。

ロータリー財団が行っております数々の教育的、人道的援助や、米山奨学会の海外からの留学生に対する大きな貢献もロータリアン一人一人の尊い寄付行為無くしては成り立たない事であります。大変困難な時ではございますが、皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

ロータリー財団、米山奨学会についてクラブが活性化を図るためには、会員が寄付した貴重な基金がどのように使われているか、どのようなシステムの元にＲ財団や米山奨学会が運営されているのか、ロータリー財団や米山奨学会が世界でどのような貢献をしているのか等々に関する正しい情報伝達がクラブレベル、会員レベルまで十分に行われることが大切であると思います。私はあらゆるレベルでその様な情報提供は行われているけれども、本当に受け手が受け入れやすい形でそれがなされていない恨みがあるのではないかと思います。先ずクラブのリーダーの方々が先頭に立って財団・米山を理解すると言う努力もしていただく必要があるのではないかと思うのであります。

ちなみにロータリー財団への当地区一人あたりの寄付額は図の通り上昇傾向にありますが、一人あたり１２０ドル、ベネファクター１００名の達成をお願いいたしております。

また米山奨学会につきましては、地区の皆様のご協力により昨年度におきましても、当２５９０地区が全国において会員一人あたりの寄付額について六年連続 No.1 の栄誉を担う事になりました。今年度におきまし

ても米山の一人２５，０００円の達成につきまして各会長の特段のご協力をお願いいたします。

ロータリー財団と米山奨学会の寄付についての認識を深めて頂くことは、このような経済状況のもとでは大変心苦しいところもございますがこの目標達成に向かってクラブのご協力をお願いいたしたいと思うのであります。

実践の第四点は奉仕団体として本来の仕事である社会奉仕、世界社会奉仕の新規プロジェクトを開始すると言う事であります。

キング RI 会長は、現在のロータリーの抱える最大の困難の一つは適切な奉仕活動を計画・実践できないクラブがあまりにも多く存在することであるとされています。ロータリー･クラブが活力を失ってしまう原因は、ロータリー・クラブがロータリークラブとしての真の機能をしていないと言う一点に尽きるのであります。クラブの沈滞は奉仕活動をしない奉仕団体である事にその根源があるのであります。

キング会長はその改善のために、一つの新しい社会奉仕プロジェクト、一つの新しい国際奉仕プロジェクトを導入する事を提唱されています。先ず行動を起こす事、先ず新しい奉仕活動のために立ちあがってみる事が、クラブの活性化に直結するのであります。

貴クラブにおかれましては、今年度も多くの充実した社会奉仕、世界社会奉仕のプログラムを計画実践されておられますが、ただいま申し上げました実践と言う観点から現在実施されておりますプログラムを再度見直していただき、クラブの活性化につなげていただきたいと思う次第でございます。

社会奉仕に関連いたしましてロータリー財団の新しい制度について一言申し上げます。ロータリー財団の資金は従来国際的奉仕活動に限定されて使用されておりましたが、今回初めてクラブの地域の奉仕活動に１０００ドルまでの補助をするという地域社会援助補助金（CAP）という制度が作られました。地区におきましては、「同額補助金委員会」にて当面これを扱う事にいたしておりますので、必要あるクラブは申請をしていただきたいと思います。WCS につきましてはクラブとしてプロジェクトを持っていないところも多く見られますが、地区からの支援、他クラブの WCS プロジェクトへの相乗りなど、機会を得て、新しい WCS への参画を図っていただくようお願いいたしたいと思うのであります。

最後にガバナー月信においても述べさせていただきましたが、私として自戒といたしている言葉がございます。それはルイス・キャロルの「鏡の国のアリス」の中に出て参ります「同じところに止まっていたければ、力の限り走らねばならぬ。どこかに行こうとすれば、その二倍の速さで走らねばならぬ。」という一節でございます。

いろいろな意味でロータリーもいま「二倍の速さで走らねばならない」時代を迎えているのではないかと思います。「人類が私たちの仕事」のテーマに込められている「行動への喚起」に応え、真に２１世紀に相応しいロータリーの建設に向かって皆さんと手を携えて前進をしていく事の出来る年度である事を

祈念致し私のご挨拶とさせていただきます。

クラブアッセンブリの風景

例会終了後上野ｶﾞﾊﾞﾅｰ、森節子第５分区代理を交えクラブアッセンブリを開催

✧　森　一誠　幹事の司会により
各委委員長より、今年度活動計画の説明を行い、中野ｶﾞﾊﾞﾅｰと森分区代理、より総評を伺いまいた。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ委員長
須藤　保夫

2001 年 8 月 *Calender*

{　会員増強月間　}

1	1542 水	*上野孝ｶﾞﾊﾞﾅｰ訪問 *卓話予定者
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	*ｸﾗﾌﾞ IT 推進委員長会議
7	火	
8	1543 水	*誕生日　鵜川，藤田,高嶋会員 *定例理事会
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	休会
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	1544 水	*職業報告 *誕生日 *卓話予定者
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	*ｸﾗﾌﾞ青少年奉仕委員長会議
28	火	
29	1545 水	*夜間移動例会(ﾊﾟｽﾄﾗｰﾙﾎﾃﾙ)PM6:30 *誕生日　岩崎,河淵,
30	木	*ﾛｰﾀﾘｰ情報･広報ｾﾐﾅ
31	金	

2001 年 9 月 *Calender*

{ 新世代のための月間　}

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	1546 水	*定例理事会 *誕生日　矢島, *ﾌｫｰﾗﾑ(青少年奉仕活動)濱田委員長
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	ロータリー財団セミナー
11	火	
12	1547 水	*ﾌｫｰﾗﾑ(親睦活動について)北原委員長
13	木	*同好会ｺﾞﾙﾌｺﾝﾍﾟ　中津川
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	1548 水	*　誕生日　森一,長根 *結婚記念　長根，森宏 *ﾌｫｰﾗﾑ(ロータリ広報活動について)石川委員長
20	木	
21	金	クラブ職業奉仕委員長会議
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	1549 水	*誕生日　遠藤 *職業報告
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

事務局　中島